

## 要 約

2-ピニルピリジンの藻類生長阻害試験を *Selenastrum capricornutum* を用いて実施した。

試験は、5濃度区[100、55.6、30.9、17.1及び9.53 mg/L(公比1.8)]及び対照区、暴露時間72時間、培養温度 $23\pm 2^{\circ}\text{C}$ 、蛍光灯による照明(照度4,000~5,000 lux、連続照明)、巡回振とう培養(約100回/分)で行った。藻類の生長は、細胞濃度によって調べた。

その結果、試験液中の被験物質濃度は、暴露開始時では設定値に対して98.2~102%、終了時では72.7~78.1%であり、暴露開始時の測定濃度が設定濃度の $\pm 20\%$ 以内であったため、試験結果は設定濃度に基づいて算出した。

生長曲線下面積、24-48時間及び24-72時間生長速度によって算出した2-ピニルピリジンの50%生長阻害濃度(EC50)はそれぞれ50.8、64.3及び64.4 mg/Lであった。また、最大無影響濃度(NOEC)はいずれも30.9 mg/Lであった。